

(別冊2) 平成27年度 熊本市エイズ総合対策報告書

平成27年度 ボランティアグループとの
取り組みについて

平成28年3月

熊本市保健所 感染症対策課

目次

- I 熊本大学ピアカウンセリングサークル「くまぴあ」との取り組み・・・・・・・・・・ 1
（高校文化祭・大学学園祭でのキャンペーン）

- II 熊本の若者によるエイズ啓発グループ「Safe LOVE Kumamoto」
との取り組み（啓発キャンペーン、啓発DVD作製等）
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

- III ゲイ支援グループ「KK」との協働・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

I 熊本大学ピアカウンセリングサークル「くまぴあ」との取り組み

1 概要

熊本大学ピアカウンセリングサークル「くまぴあ」の協力のもと、若い世代の行動変容に効果があるとされるピアエデュケーション（仲間教育）※の手法を取り入れ、高校文化祭や大学学園祭でキャンペーンを行った。また、年間を通して、くまぴあメンバーと打ち合わせや勉強会を重ねながらキャンペーンに取り組んだ。

※ピアエデュケーション（仲間教育）：同じような年代・境遇の人たちからの教育。共感を得やすく、自分のこととして考える機会を提供することができる。

2 くまぴあについて

熊本大学医学部保健学科看護学専攻、教育学部養護教諭養成課程の学生を中心としたグループ。ピアカウンセリングの手法を取り入れたワークショップ（コミュニケーション・ライフプラン・性について）などを通し、ピア（仲間）として高校生や大学生と一緒によりよいコミュニケーションについて考えたり、エイズ・性感染症や性に関する正しい知識を伝えたりする活動を行っている。

3 高校文化祭・大学学園祭でのピアエデュケーション（仲間教育）の手法を使った啓発キャンペーン

（1）概要

高校文化祭では、保健委員の取り組みとして参加するため、事前に各校で保健委員への説明会と勉強会を行った。勉強会では、くまぴあによるピアエデュケーションを行い、当日はできる範囲で保健委員にも答え合わせに参加してもらった。

（2）キャンペーン内容

- ①文化祭、学園祭会場にて、来場者へクイズ・アンケートに答えてもらう。
- ②その答え合わせと解説を、くまぴあのメンバーが行い、参加者と話しながらエイズ・性感染症について一緒に考える。
- ③啓発グッズやパンフレットをお土産に渡す。
- ④その他、会場には啓発パネルなどくまぴあと作製した掲示物等や保健委員が作製した作品等を掲示する。

（3）実績

くまぴあメンバー12名が参加。高校2校2日間、大学2校2日間実施した。

①高校文化祭

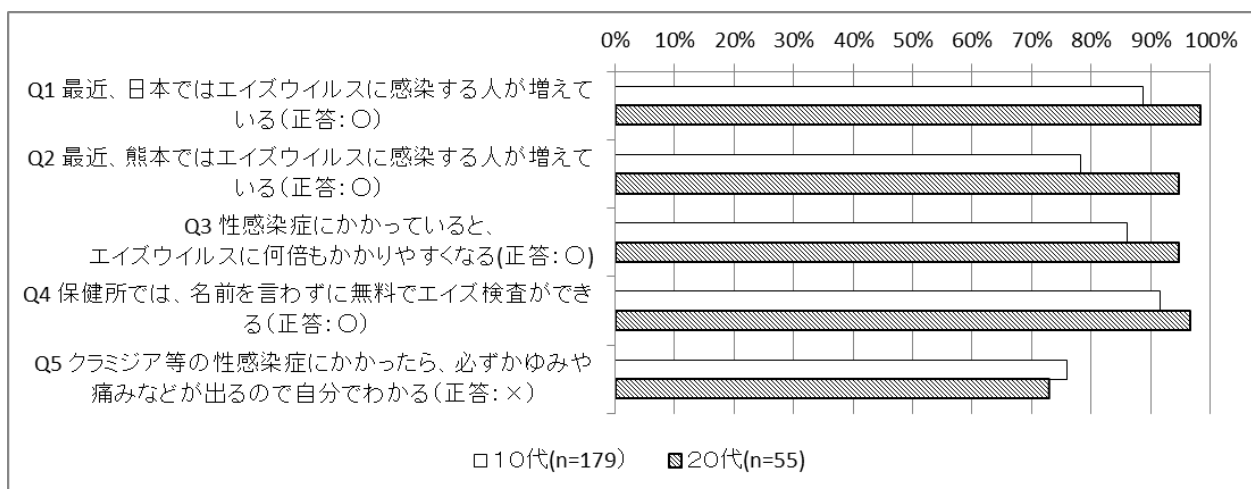
- ・熊本市立必由館高校 9月19日(土) 11時～14時 参加者 69人
- ・熊本中央高校 10月31日(土) 10時～13時 参加者 99人

②大学学園祭

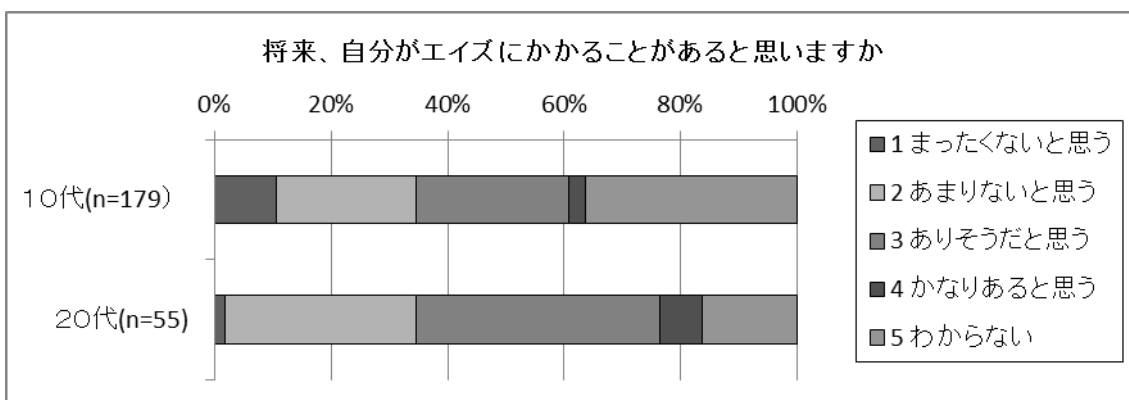
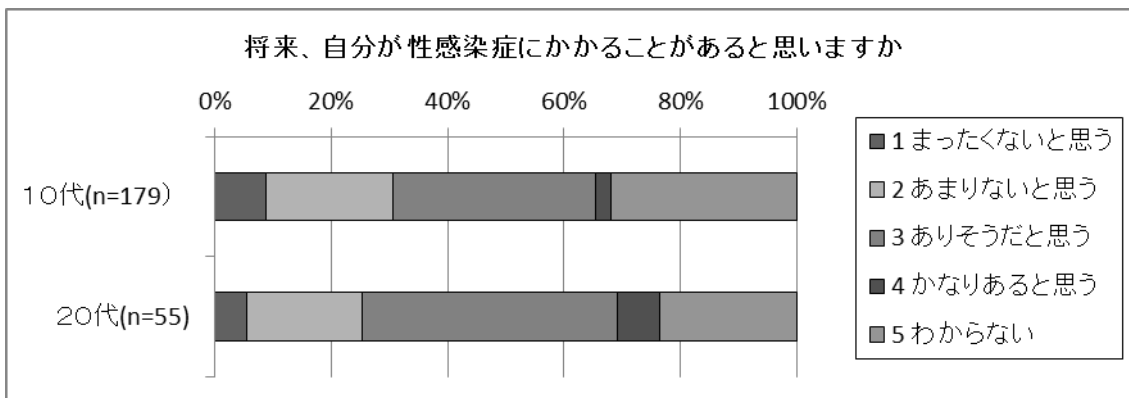
- ・熊本保健科学大学 10月17日(土) 11時～15時 参加者 71人
- ・崇城大学 11月7日(土) 11時～15時 参加者 31人

(4) クイズアンケート結果

- ①知識 エイズ・性感染症に関する5問の○×クイズを行った。10代に比べ、20代の正答率が高かったが、クラミジアに関する設問(Q5)では、10代の正答率が高かった。また、エイズが「日本で増えている」に比べ「熊本で増えている」の正答率が低かったことから、熊本にも関係ある問題であることを伝えていく必要があると思われる。



- ②意識 将来自分が性感染症及びエイズに感染することがあると思うかについてたずねた。性感染症・エイズの両方で、10代に比べ20代の方が「あると思う」と答えた割合が多かった。10代に比べ20代の方が性感染症やエイズを身近に感じていることから、繰り返し、年代に合わせた情報の提供を行っていく必要があると考えられた。



(5) 評価

ピアエデュケーションの手法を取り入れ実施することで、高校生や大学生に、エイズや性感染症について身近に考える機会を提供することができた。

活動にピアエデュケーターとして参加した大学生や高校生自身にとっても、自分の人生や伝え方について考える機会となった。

【活動の様子】



Ⅱ 熊本市の若者によるエイズ啓発ボランティアグループ「Safe LOVE Kumamoto」との取り組み

1 Safe LOVE Kumamotoについて

平成25年度の街頭キャンペーンを実施するにあたり結成。毎年、大学生を中心に集まり、若い世代の社会人も協力をしながら啓発キャンペーンなどを企画実施している。27年度の参加者は約20名だった。

2 平成27年度 啓発キャンペーン

(1) 概要

12月1日の世界エイズデーに合わせ、熊本市人権啓発市民協議会及び熊本市（人権推進総室）主催の『第38回ヒューマンライツ・シアター（人権映画上映会）』で映画「フィラデルフィア」（1993年トム・ハンクス主演）の上映が行われることとなった。これにあわせ、エイズの現状や検査について市民が正しく理解するきっかけとするために、市（感染症対策課）と「Safe LOVE Kumamoto」の協働でステージイベントを企画実施した。

(2) 日時 平成27年12月1日（火） 13:50～16:30

（ステージイベントは最初の20分間）

(3) 場所 熊本市健軍文化ホール

(4) 内容

ア エイズの基礎知識

スライドを使い、感染症対策課職員と大学生2名が会話形式で「エイズとは」「エイズの歴史」「エイズの現状」「検査相談について」解説した。

イ パネル朗読とミニファッションショー

大学生6名が、2種類のパネルの朗読をする。朗読者は、レッドリボンをあしらった衣装を着てステージ奥や客席後方から登場。途中、メッセージボードを掲げながらステージ上まで順にモデルウォーキングをする。

ウ オリジナルカード及びパンフレットの配布

エ パネル展「HIV×（日常）×わたし。」 ロビーに展示した。

(5) 実績

ア 来場者148名（詳細はアンケート結果のとおり）

イ 参加者人数 感染症対策課 2人 大学生（出演） 6人

大学生、社会人ボランティア（記録、その他補助） 2人

(6) 来場者アンケート（映画とキャンペーンを見ての感想）

- ・エイズの詳しい講座が大変良かった。
- ・若い女性が積極的にエイズ問題（PR）に取り組み活動していることが分かった点。
- ・ミニ講座すばらしかった！！
- ・エイズだけでなく人間はいろいろな愛のかたち？があり、それを一言では言えないかなあと少し複雑な気持ちになった。
- ・エイズの人に対する印象がかわりました。人間としてつき合っていきたいです。
- ・学生さんお疲れ様でした。説明わかりやすかったです。サークルがんばって。映画初めて観ました。自分にも何かできることがあるのだろうか。
- ・少し身近に感じました。
- ・若いってすばらしいです。このような方々が活動していってほしいことすら知りませんでした。
- ・時代とともに状況も変わるのでニュース等に気をつけ理解できるよう努めたいと思いました。

(7) 評価

- ・企画からボランティアの学生等と進めていくことができ、学生にとってもエイズについて学ぶ機会となった。
- ・若い世代をターゲットに企画を進めていたが、平日昼間の開催ということもあり、来場者のほとんどが60代以上の方だった。家族への理解と情報提供をというメッセージに転換して話をするすることで、理解してもらえたと評価できた。
- ・特に、人権啓発という意味では意味のある機会だったと考えられる。

【エイズ基礎講座】

【ミニファッションショー】



【パネル朗読】



3 啓発DVDの作製

- ・平成26年度の街頭キャンペーンで実施したファッションショーの様子と、パネル展の内容を元に啓発DVDを作製している。
- ・平成26年12月から企画をスタートし、これまでに、ミーティング12回、メール等を使ったやり取りで、映像の編集、パネルのスライド化、ジャケットデザイン、冊子の作製などを行っている。
- ・平成28年度前半には完成予定。

Ⅲ ゲイ支援グループ「KK」との協働

1 背景

国内のHIV感染者・エイズ患者（日本国籍）のうち、約59%が男性同性間の性的接触による感染と多くを占めており、MSM（男性間で性行為をするものを言う、以下同じ。）への予防啓発・教育と検査の推進が急務とされている。

熊本県のMSM人口は、成人男性（20～59歳）の約4.9%※といわれており、熊本市内にも複数のゲイ向け商業施設等がある。しかし、偏見や差別が存在している社会背景等や、性的指向の側面で配慮が必要なことから、これらコミュニティへの行政による積極的な介入は逆効果と言われており、本市においてもこれまで有効なアプローチ方法がなく、長年、当事者グループによる主体的な活動が望まれてきた。

※出典：H24年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「MSMのHIV感染対策の企画、実施、評価の体制整備に関する研究」（代表市川誠一）

2 経緯

平成26年8月に、福岡のNPO「LOVE ACT FUKUOKA (LAF)」代表 牧園氏から市感染症対策課へ、「熊本で活動しているゲイ当事者によるサークル「KK」のメンバーが、行政と連絡を取ることを希望している」との連絡があった。これを受け、9月に、関係者による連絡会を開催し、協働に向けた取組みを開始した。

27年度は、連絡会や担当者間のミーティング、啓発物の作製を行う中で情報共有を重ねながら、取組みを行った。

3 KKについて

(1) 構成 熊本在住の20～30代男性 5名

(2) 主な取組み

- ・コミュニティペーパーの作成及びゲイバーやイベント等での配布
- ・ブログ等インターネットを活用した情報発信
- ・当事者対象の茶話会の実施
- ・セクシュアルマイノリティ当事者として、各種研修会等での講演活動
- ・熊本市保健所とのエイズ啓発に関する取組み

※グループ名は、28年2月に「KK」から「Safety Blanket」（通称「セーブ」）へ改名された。報告書上、27年度中は「KK」の名称を使い、28年度からは「Safety Blanket」を使用する。

4 熊本市とKKとの協働について（27年度実績）※詳細はP17～18参照

(1) 連絡会

- ・拡大会及び担当者連絡会議として4回実施した。

- ・ 拡大会では、KK、LOVE Act Fukuoka 代表（福岡のNPO）、熊本大学医学部附属病院エイズ診療従事者、熊本県、熊本市による今後の取り組みについての意見交換や活動状況の報告を行った。

- ・ 担当者会議は、KK、熊本大学医学部附属病院エイズ診療従事者、熊本市の担当者等少人数で、具体的な活動案について意見交換を行った。

（2）勉強会

- ・ KKメンバー対象の勉強会を27年5月に行った。
- ・ 6月には、MSM対象の勉強会イベントを実施し、4名が参加した。
- ・ 当事者限定の茶話会に熊本市の担当者が参加し、他愛もない話をする雰囲気の中でエイズについての話題についても触れ、関心を集めた（1回）。

（3）茶話会への協力

- ・ ゲイ当事者限定のクローズとしてKK主催で4回開催した。
- ・ エイズについての最新情報やパンフレット、啓発物の提供、場所の提供を行った。
- ・ 茶話会の案内を相談室内に掲示した。

（4）オリジナル啓発物の作成

- ・ KKメンバーと職員が打ち合わせを重ね、どんなものをつくれれば手に取ってもらえるかを一緒に考え、啓発物の種類やデザインについてアイデアを出し合いながら作製した。ゲイバーやイベント、相談室等で配布している。

ア KKロゴ入り Condom 添付用ステッカー

- ・ KKの活動と、エイズ検査のホームページを紹介するために、KKロゴとQRコードを2つ（KKのFacebook ページ、エイズ検査案内のホームページへのリンク）配したデザインのステッカーを作製した。
- ・ Condom に添付し、ゲイバーやイベント、相談室で配布した。

イ エイズ検査案内チラシ

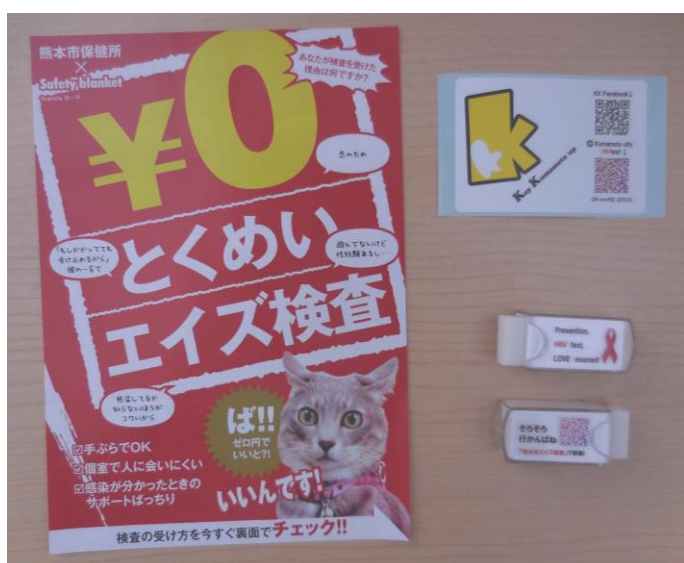
- ・ 手に取ってもらえるキーワードはなにか、どんな情報がほしいかについて意見交換しながら作製した。
- ・ 表面には、「〇円」「とくめい」「感染後のサポートばっちり」などのキャッチコピーを採用し、裏面には、具体的な検査の受け方、感染が分かった後の情報、相談室の写真などを掲載した。
- ・ 28年度から、ゲイバーやイベントで配布する他、市関連施設や大学・専門学校へ送付、また、大学で行うキャンペーンなどで配布する。

ウ 啓発用消しゴム

- ・若い世代が必要とする文具であり、メッセージの印刷面が広い（ケース両面へ印刷可能）ことから、消しゴムを選んだ。
- ・若い男性も持ちやすいデザインということで、キャラクターなどは使わず、レッドリボンと英語のメッセージを配したシンプルなデザインとした。
- ・裏面には、エイズ検査のQRコードと、日本語での一言メッセージを掲載した。
- ・KKの茶話会や勉強会、高校・大学でのキャンペーンなどへ参加した人へ提供する。

【作製したチラシ・ステッカー・消しゴム】

【消しゴムのメッセージは3種類】



(5) ホームページへのリンク

- ・熊本市エイズ検査相談のページにKKのFacebookページをリンクした。

(6) 相談室内への掲示板的設置

- ・熊本市保健所のエイズ相談室へ掲示板を設置。妊娠中絶についての相談窓口、感染者の手記などに混じる形で、KKの紹介やKKステッカー添付コンドーム（持ち帰り用）などを掲示している。

5 評価

ゲイ当事者によるグループと協力しながら活動をする中で、ゲイコミュニティへ確実に情報を届けることができている。今後も、継続して活動を行うことが重要と考えられる。

6 28年度計画と今後の展望

- ・これまでの取組みに加え、ゲイバイ男性を対象としたウェブアンケート調査（エイ

ズ検査についての利用状況と意識調査)を行う。

- ・ KK主体の活動を行政や医療関係者が継続して支援していく。

【相談室内に設置した掲示板】



【KK茶話会チラシとコンセプト「安心して話せる場所の提供」】

何もしない。
をするお茶会

presented by Safety Blanket (旧KK) ゲイによるゲイ支援サークル！

H28.3.24 (木) 午後1時~
@熊本市中央公民館 会費 600円

いつも通り、お菓子食べたりお茶飲みながら、他愛もない話をしたいと思います。
何をするのかというと、特に何もしません。いや、何もしないをするというべきか。
いや、何もしないをするというべきか。
ゲイバーに出るのはちょっと勇気がいるし、インターネットの出会い系で人と出会うのは怖いな...
そんな人が、同じ同性愛者の人達が集まり、普段は人に話せない自分の話をできる場所があればいいなという思いからやっています。
ふざけた話もよし、真面目な話もよし。熊本のゲイ事情から世界の同性愛事情、HIVや感染症の話も、同性婚について聞いてみたりするもよし。
公序良俗に反さない人ならば、年齢制限はございません。
尚、当茶話会は男性同性愛者のみのクローズドなものとなりますことをご了承ください。
ぜひ、お問い合わせの上ご参加ください「o」/ Safety Blanket (セーブ) 代表 こうぞう

★詳しくは、アメブロ・Facebook を 要チェックや！ ⇒
★問合せは、お電話にメールで ⇒ ksyu.kmoto@gmail.com

いつも通り、お菓子食べたりお茶飲みながら、他愛もない話をしたいと思います。
何をするのかというと、特に何もしません。いや、何もしないをするというべきか。

ゲイバーに出るのはちょっと勇気がいるし、インターネットの出会い系で人と出会うのは怖いな...
そんな人が、同じ同性愛者の人達が集まり、普段は人に話せない自分の話をできる場所があればいいなという思いからやっています。
ふざけた話もよし、真面目な話もよし。熊本のゲイ事情から世界の同性愛事情、HIVや感染症の話も。
同性婚について聞いてみたりするもよし。

公序良俗に反さない人ならば、年齢制限はございません。
尚、当茶話会は男性同性愛者のみのクローズドなものとなりますことをご了承ください。

ぜひ、お問い合わせの上ご参加ください、(^o^)/
Safety Blanket (セーブ) 代表 こうぞう

KK (Safety Blanket[※]) と熊本市の協働

平成28年3月30日 現在

●平成26年8月に、福岡のNPO「LOVE ACT FUKUOKA (LAF)」代表 牧園氏から市感染症対策課へ、「熊本で活動しているゲイ当事者サークル「KK」のメンバーが、行政と連絡を取ることを希望している」との連絡があり、協働に向けた取組みを開始。9月に、熊本大学医学部附属病院関係者や県の担当者も含めて第1回目の連絡会を実施し、情報交換を行った。その後の取組みは以下のとおり。
 ※グループ名は、28年2月に「KK」から「Safety Blanket」(通称「セーブ」)へ改名された。報告書上、27年度まで「KK」の名称を使い、28年度からは「Safety Blanket」を使用する。

		日時	場所	出席者		内容
				人数	構成	
26年度	第1回連絡会 (拡大会)	平成26年9月1日(月) 19:30~	ウェルパルクまもと 4階会議室	13名	・KK:2名 ・熊大:5名 ・熊本市:3名 ・LAF:1名 ・熊本県:2名 ・熊本	●関係者が集まり、それぞれの活動状況等について情報交換を行った。 1. 自己紹介 2. 熊本市のエイズ対策 3. 当事者の活動について 4. 情報交換
	第2回連絡会	平成26年10月17日(金) 19:00~	ウェルパルクまもと 4階会議室	6名	・KK:2名 ・熊本市:3名 ・LAF:1名 ・熊本	●具体的な活動案について意見交換 1. 自己紹介 2. 熊本市のエイズ対策 3. KKの活動について 4. 意見交換 ・これからの協働について
	第3回連絡会	平成26年12月12日(金) 19:00~	ウェルパルクまもと 4階会議室	7名	・KK:3名 ・熊本市:3名 ・熊大:1名 ・熊本	●具体的な活動案について意見交換 1. 前回の続き~意見交換 ・啓発物のデザイン、フリーペーパーの作製 ・勉強会について ・報告書に記載する名前について 2. 近況報告 ・KKの活動 ・熊本市の啓発(エイズデー関連) 3. お知らせなど ・12/14特例検査の実施
	パネル展 インタビュー	平成27年1月29日(木) 18:30~	市内喫茶店	4名	・KK:2名 ・熊本市:1名 ・SaLK※:1名 ・熊本	SaLKと熊本市の協働で企画したパネル展「HIV×(日常)×わたし。」のインタビューにKKメンバーが協力
	KK茶話会 (第1回)	平成27年2月20日(金) 19:30~	中央公民館	12名	・KK:3名 ・市民:9名	ゲイ当事者の懇親会(当事者のみのクローズで実施)
●26年度は、お互いの状況についての情報交換を主に取り組んだ。(連絡会3回、茶話会1回、他)						

		日時	場所	出席者		内容
				人数	構成	
27年度	第4回連絡会 (拡大会)	平成27年4月23日(木) 19:00~	ウェルパルクまもと 4階会議室	9名	・KK:1名 ・熊大:4名 ・熊本市:3名 ・LAF:1名 ・熊本	●今後の活動について意見交換 1. 平成26年度の取組み状況について(報告) 2. KKの活動について(KK) 3. エイズに関するトピックス(松下教授) 4. これからの協働について意見交換 ・今年度の見通し ・フリーペーパー、啓発ステッカーの作製、勉強会など
	KK茶話会 (第2回)	平成27年5月22日(金) 18:10~	中央公民館	12名	・KK:2名 ・市民:10名	ゲイ当事者の懇親会(当事者のみのクローズで実施)
	勉強会 (KK対象)	平成27年5月27日(水) 10:00~	ウェルパルクまもと 4階会議室	2名	・KK:1名 ・熊本市:1名	・エイズの基礎知識、質疑応答 ・勉強会イベントについての打合せ
	勉強会イベント打合せ	平成27年6月6日、27日	ウェルパルク、市内喫茶店等	3名	・KK:1名 ・熊大:1名 ・熊本市:1名	・イベントの構成、内容、広報などについて
	勉強会イベント (市民対象)	平成27年6月28日(日) 13:30~15:30	ウェルパルクまもと 1階会議室	7名	・KK:1名 ・熊本市:1名 ・熊大:1名 ・市民:4名	●ゲイ当事者対象の勉強会イベント ・講師:熊本大学医学部附属病院 看護師 高木氏 熊本市感染症対策課 泉氏 ・内容:「エイズについての基礎知識」 「感染したらどうなるの」 「意識調査と意見交換(フリートーク)」
	第5回連絡会	平成27年8月24日(月) 18:00~	ウェルパルクまもと 4階会議室	6名	・KK:2名 ・熊本市:3名 ・熊大:1名 ・熊本	●具体的な活動案について意見交換 1. エイズ対策会議について 2. 啓発ステッカー、コンドーム作製について 3. これまでの活動とこれからの活動について (勉強会、茶話会の企画)
	平成27年度熊本市エイズ総合対策推進会議	平成27年9月7日(月) 13:30~15:30	ウェルパルクまもと 大会議室	34名	・エイズ総合対策推進会議委員 20名 ・熊本市(関係各課)4名 (感染症対策課)7名 ・熊本県:2名 ・KK:1名	●会議でKKと熊本市の取組み紹介 ●代表が自身の経験や活動による思いなどを紹介
	啓発物作成打合せ	平成27年9月22日(火) 21:00~	市内飲食店	3名	・KK:2名 ・熊本市:1名	・コンドームステッカー作製打合せ ・勉強会企画、その他連絡事項
	KK茶話会 (第3回)	平成27年10月24日(土) 13:30~16:00	中央公民館	5名	・KK:1名 ・熊本市:1名 ・市民:3名 ・熊本	・ゲイ当事者の懇親会(当事者のみのクローズで実施) ・エイズについて
	第6回連絡会	平成27年11月19日(木) 19:30~	ウェルパルクまもと 4階会議室	6名	・KK:2名 ・熊本市:3名 ・熊大:1名 ・熊本	●具体的な活動案について意見交換 1. 啓発ステッカー、コンドーム作製について 2. これまでの活動とこれからの活動について (勉強会、茶話会の企画)
	啓発物作成打合せ	平成28年1月14日(木) 20:30~	市内飲食店	3名	・KK:2名 ・熊本市:1名	・啓発物作製打合せ(グッズ、検査促進チラシ) ・茶話会企画、その他連絡事項
	啓発物作成打合せ	平成28年1月21日(木) 20:00~	市内飲食店	3名	・KK:2名 ・熊本市:1名	・啓発物作製打合せ(グッズ、検査促進チラシ) ・その他連絡事項
	啓発物作成打合せ	平成28年1月30日(土) 21:00~	市内飲食店	4名	・KK:2名 ・熊本市:1名 ・市民:1名 ・熊本	・啓発物作製打合せ(検査促進チラシ) ・その他連絡事項

		日時	場所	出席者		内容
27年度	KK茶話会 (第4回)	平成28年2月6日(土) 13:00~15:00	中央公民館	7名	・KK:2名 ・熊本市民:5名	・ゲイ当事者の懇親会(当事者のみのクローズで実施) ・エイズについて
	打合せ	平成28年3月11日(金) 21:00~	市内飲食店	3名	・KK:2名 ・熊本市:1名	・啓発物受け渡し、近況報告、今後の活動について
	KK茶話会 (第5回)	平成28年3月24日(火) 13:00~15:00	中央公民館	6名	・KK:1名 ・熊本市民:5名	・ゲイ当事者の懇親会(当事者のみのクローズで実施) ・エイズについて
	第7回連絡会	平成28年3月29日(火) 19:00~	ウェルパルクまもと 1階会議室	6名	・KK:2名 ・熊大:1名 ・熊本市:3名	●27年度報告と28年度計画について ・近況報告 ・来年度計画 他
	啓発物作製・配布状況	<ul style="list-style-type: none"> ・コンドーム添付用ステッカー作製:1000枚、ステッカー添付コンドーム配布 約500個(ゲイバー、イベント、相談室等) ・チラシ作製:1000枚、配布 約150枚(ゲイバー、学生等) ・啓発用消しゴム作製:600個、配布 約50個(KK茶話会、研修会等) 				
●27年度は、連絡会や担当者間のミーティング、啓発物の作製を行う中で情報共有を重ねながら、取り組みを行った。(連絡会4回、勉強会2回、茶話会4回、他)						

※熊本市の若者によるエイズ啓発ボランティアグループ「Safe LOVE Kumamoto」

		実施頻度等	実施時期	出席者	内容	
28年度 計画案	連絡会(拡大会)	年1回	4月または5月	Safety Blanket、熊大病院関係者、LAF、 県、市	前年度活動報告、今年度活動計画、情報交換	
	連絡会	年3回程度 ※4半期に1回	7月または8月	Safety Blanket、熊大病院関係者、県、 市	活動報告、情報交換、動向調査資料等を活用	
			10月または11月			
			1月または2月			
	担当者打合せ	必要時				打合せ
	MSM対象茶話会、勉強会	2ヶ月に1回程度(茶話会 4回、勉強会2回程度)				当事者のみのクローズで実施、市から資料提供
	アンケート調査	1回	年度内			ゲイバイ男性を対象としたウェブアンケート調査(エイズ検査についての利用状況と意識調査)
	啓発物作成	コンドーム用ステッカー	4月			
	検査啓発チラシ、啓発物品 (文具等)等	年度内				
●28年度は、これまでの取組みに加え、ゲイバイ男性を対象としたウェブアンケート調査(エイズ検査についての利用状況と意識調査)を行う。						